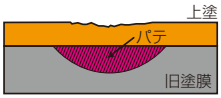
3-2 パテ跡

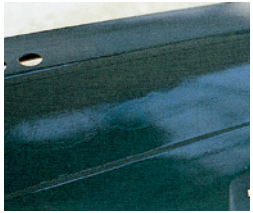
現 象

●パテ付けした跡が、上塗り面に現われる。

原 因

●上塗塗料の溶剤が、パテおよび旧塗膜へ浸透し、膨潤する。
また、樹脂によってその程度が異なり、収縮する際にパテ周辺のフェザーエッジ部がひずみ、パテ跡が出る。





塗装作業による要因

【 パテの乾燥不足 】
【 ラッカーパテの厚付け 】
【 パテの研ぎ不足および研ぎ過ぎ 】
【 ポリパテのラッカー塗膜間のサンドイッチ 】
【 うすめ過ぎの上塗塗料を厚塗り 】
【 旧塗膜足付け不良部へのパテ付け 】
【 旧塗膜のエッジ出し不良 】

材料・使用誤りによる要因

【 パテの吸い込み大 】
【 上塗塗料の溶解力が強い 】
【 ノンブラッシングの入れ過ぎ 】

対 策

●旧塗膜のエッジ出しとパテの面出しを確実に行う。
●ポリパテの上はウレタンプラサフで押えてから上塗りする。

処 置

●平滑になるまで研ぎ落とし、ウレタンプラサフを塗った後、上塗りする。